

Title	ON時間OFF時間
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2016
Jtitle	新版 窮理図解 No.23 (2016. 12) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000023-0006

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

勝良 健史の ON と OFF

幼少期から現在に至る ON と OFF の様子をご紹介します。

私が幼稚園に入る前くらいのときに、京都の自宅で撮った写真です。父の前に立っているのが私で、母の膝の上にいるのが2歳年下の弟です。



東京大学の入学直後に撮ったクラスの写真です。私の左隣に立っているのが、今年度から慶應大学の数理科学科に着任した小林景さんです。小林さんとは、慶應で20年以上ぶりに再会しました。



大学で、山登りとスキーのサークルに入り、いろいろな大学にいる数学関係ではない友人ができました。現管理工学科准教授の田中健一さんも、そのサークルの同期で、大学1年生からの友人の1人です。

修士課程2年から博士過程1年にかけてアメリカに滞在していましたが、その滞在の最後に指導教員の河東先生と2人の先輩とともにヨセミテ公園に行ったときの写真です。

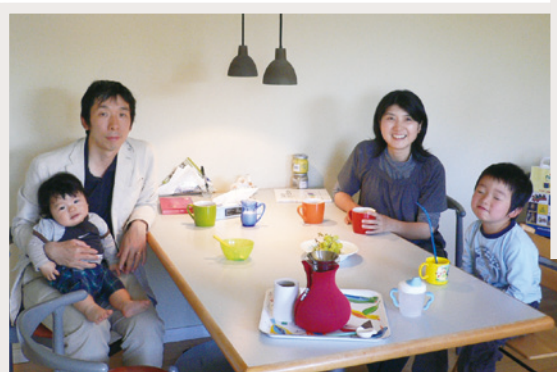


2006年の秋に大阪市立大学で行われた日本数学会秋季総合分科会で、建部賢弘賞をいただいたときの写真です。数学は他の理工系の分野に比べてこういった賞の数は多くないので、立派な賞がいただけて嬉しかったです。慣れないスーツを着て、とても緊張して壇上に向かったのを覚えています。



博士課程2年からポスドクにかけて、オレゴン大学に滞在して研究していました。そのときお世話になった、オレゴン大学の中国人の先生と黒板を使って議論しているときの写真です。

慶應に来てから、1年半デンマーク大学で研究する機会をいただきました。この写真は2011年の夏に、コペンハーゲン郊外にある滞在先のアパートで撮った写真です。長男(当時4歳)は地元の幼稚園に通い、次男(当時9カ月)はデンマークで生まれました。妊娠中の大変なときにデンマークまでついてきてくれ、異国の地で楽しく子育てをしていた妻にとっても感謝しています。



長男(9歳)と一緒に通っている囲碁教室での親子対決の写真です。長男は本当に囲碁が好きらしく、すごいスピードで上達しており、親として嬉しいかぎりです。